

# 官報

號外

昭和八年一月二十七日

## ○第六十四回衆議院議事速記録第七號

昭和八年一月二十六日(木曜日)

午後一時五十八分開議

議事日程 第六號

昭和八年一月二十六日

午後一時開會

第一 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新  
營費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 昭和八年度一般會計歳出ノ財源  
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法  
律案(政府提出) 第一讀會

第三 大阪帝國大學工學部設置ニ付帝  
國大學特別會計及官立大學特別  
會計ノ關涉ニ關スル法律案(政  
府提出) 第一讀會

第四 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員  
ノ選舉

第五 鐵道敷設法中改正法律案(政府  
提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員  
ノ選舉

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、  
都合ニ依リマシテ暫時休憩致シマス

午後一時五十九分休憩

午後三時二十三分開議

○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ  
開キマス、諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲  
事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關  
スル件)

帝國鐵道會計法中改正法律案

(以上一月二十六日提出)

一 今二十六日政府ヨリ昭和五年度國有財産  
増減總計算書及之ニ添附スヘキ各省ノ同  
増減報告書並會計検査院検査報告ヲ受領  
セリ

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案

提出者

松實喜代太君 林 路一君

(以上一月二十六日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲  
茲ニ掲載ス)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

福島猪苗代間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 林 平馬君

白虎隊戰死者ヲ神社ニ祀ルノ建議案

提出者 林 平馬君

大和川改修速進ニ關スル建議案

提出者

福井 甚三君 江藤源九郎君

國有林野ヲ其ノ地元町村ニ拂下又ハ利用  
ニ關スル建議案

提出者

林 平馬君 一松 定吉君

內藤 正剛君

三陸沿岸鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

志賀和多利君 熊谷 巖君

廣瀬 爲久君 田子 一民君

八角 三郎君 小野寺 章君

在米同胞慰問ノ爲民族使節派遣ニ關スル  
建議案

提出者

松田竹千代君 濱野徹太郎君

中村 嘉壽君 戸田 由美君

穴水飯田間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

益谷 秀次君 青山 憲三君

(以上一月二十五日提出)

日華定期航空開始ニ關スル建議案

提出者

永田 良吉君 宮脇 長吉君

上原平太郎君 原口初太郎君

原 物兵衛君 土倉 宗明君

江藤源九郎君 土井 權大君

內野辰次郎君 八角 三郎君

中島知久平君

民間飛行士優遇ニ關スル建議案

提出者

永田 良吉君 上原平太郎君

原口初太郎君 原 惣兵衛君

土倉 宗明君 江藤源九郎君

宮脇 長吉君 土井 權大君

內野辰次郎君 八角 三郎君

中島知久平君

(以上一月二十六日提出)

一 昨二十五日齋藤內閣總理大臣ヨリ左ノ通  
發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

農林省農務局長 長瀬 貞一

農林省山林局長 木島 駒藏

農林省水産局長 戸田 保忠

農林省畜産局長 村上龍太郎

農林省蠶絲部長 入江 魁

農林省米穀部長 荷見 安

農林省經濟更生部長 小平 權一

農林書記官 井野 碩哉

第六十四回帝國議會農林省所管事務政府  
委員被仰付

一 昨二十五日常任委員補選ノ結果左ノ  
如シ

第二部選出

決算委員 福田關次郎君(横山一格君  
補闕)

第七部選出

請願委員 清水留三郎君(田中祐四郎  
君補闕)

第九部選出

豫算委員 加藤鯛一君(岸衛君補闕)

第九部選出

豫算委員 小山 谷藏君(中村繼男君 補闕)

一昨二十五日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル 常任委員左ノ如シ

第二部選出豫算委員 庄 晋太郎君 一昨二十五日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

四三一 中川 觀秀君 四三三 鷺澤與四二君

○議長(秋田清君) 此場合議長ヨリ御報告 致シタイコトガアリマス、昨日ノ本院ノ決 議ニ對シ、國際聯盟會議帝國代表ヨリ内田 外務大臣へ宛謝電ガアリマシテ、同大臣ヨリ 本院へ通達セラレマシタ、茲ニ之ヲ朗讀 致シマス

貴院ノ決議ニ對シ感激ニ堪ヘス尙此ノ上 共微力ヲ竭シテ御希望ニ副ハン事ヲ期ス 次ニ御諮リ致スコトガアリマス、豫算委員 長ヨリ、本日本會議中豫算委員會ヲ開キタ イトノ申出ガアリマシタ、尙ホ今後モ、本 會議中ト雖モ同委員會及分科會ヲ開キタイ トノコトデアリマス、之ヲ許可スルニ御異 議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ ス、仍テ許可致シマス土屋清三郎君ヨリ議 事進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマス、昨 日ノ議長ノ措置ニ關スル件ト云フコトデア リマス、此場合之ヲ許シマス——土屋清三 郎君

〔土屋清三郎君登壇〕

○土屋清三郎君 昨日本議場ニ於ケル 議長ノ措置ニ對シテ、議長ニ一言致サナケ レバナリマセヌ、議會政治ノ運用ヲ滑ラカ ニシ、其品位ヲ向上シ、其機能ヲ十分ニ發 揮サスル爲ニハ、議會振肅ノ必要ナルコト ハ申スマデモアリマセヌ(拍手)此意味ニ於 テ、議長ハ曩ニ率先シテ各派交涉會ト共ニ 議會振肅ノ委員會ヲ設ケテ、振肅ニ關スル 當面必要ナル交渉ヲ申合セタト云フコトハ、 議長ハ十分ニ御承知ノコトデアリマス、 殊ニ議事ニ關シマシテ、從來動モスレバ名 ヲ議事進行ニ藉テ、議事ノ圓滿ナル進行 ヲ妨グルコトガ少クアリマセヌカラ、此振 肅委員會ニ於キマシテ、假令議事進行ノ發 言ト雖モ、直接議題ト關係ヲ有シナイモノ、 竝ニ直チニ處置シナケレバナラナイモノヲ 除イテハ、成ベク發言ヲシナイヤウニ、相 當ノ制限ヲ加フルコトニ致シタノデアリマ ス、然ルニ議長ハ一昨日政友會ノ芦田君ノ 發言ニ對シマシテ

〔發言スル者アリ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○土屋清三郎君(續) 昨日國民同盟會ノ加 藤副一君ニ、議事進行ノ名ニ於テ發言ヲ許 シタノデアリマス、是ハ直接議題ト何等ノ 關係ガアリマセヌ(ノ——)又直チニ處 置シナケレバナラナイ所ノ問題デアリマ

セヌ、是ハ議長自ラ言フガ如ク、全ク許ス ベカラザル所ノ新例デアリマス(拍手)ノ一 議長ハ此點ニ於テ議會振肅委員會

ノ申合セテ議長自ラ破壞シタノデアル(拍 手、發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○土屋清三郎君(續) 殊ニ芦田君ノ一昨日 ノ發言ニ對シテハ、政友會ノ幹部會ニ於テ モ、昨日芦田君ヲ申合セマデモ出來テ居、 明ヲサスルコトノ申合セマデモ出來テ居、 タノデアル、秋田議長ハ籍ヲ政友會ニ置イ テ、政友會ト通謀シテ是等ノ事情ハ十分ニ 承知ヲシテ居リナガラ、加藤君ニ發言ヲ許 シタト云フノハ何事デアアル、芦田君ニ對シ

テ自發的ニ此釋明ヲ許シタナラバ、斯様ナ 問題ハ起ラナイノデアアル、殊ニ加藤君ハ、 芦田君ノ前日ノ演說ニ對シテ議事進行ノ發 言ヲ求メタニ拘ラズ、更ニ進ンデ我黨ノ松 本君ノ演說マデモ引出シテ、此議事ノ進行 ヲ妨ゲサシタト云フコトハ、其實全ク議長ノ 措置ニアルノデアアル(拍手)殊ニ今日議長 ハ、植原副議長ヲ通ジテ我黨ニ對シテ、此 問題ニ付テ交渉ヲ進メテ居、タニモ拘ラズ、 其間ニ於テ到底自分ノ釋明ガ物ニナラナイ ト思惟スルヤ、交渉半バニ斯様ナ勝手ナ釋 明マデモ公ニシタト云フコトハ、洵ニ不都 合千萬デアラ、議長ノ態度ハ所謂市井ノ三 百代言ノ態度デアル

〔馬鹿ヲ言ヘ其他發言スル者多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○土屋清三郎君(續) 秋田議長就任ノ初ニ 於テ、吾々ハ議長ガ公平ニ其職務ヲ執ルガ 爲ニハ、須ラク黨籍ヲ離脱シナケレバナラ ナイト云フコトノ警告ヲ致シタニモ拘ラ

ズ、議長ハ之ニ應ジナイ、籍ヲ政友會ニ置 クト雖モ、公平ニ其職務ヲ執ルト此議場ニ 於テ宣誓フシタニモ拘ラズ、其以後ニ於ケ ル議長ノ態度ハ、吾々ガ再三再四警告ラシ タ如ク、全ク政友會ノ一員トシテ、政友會 ノ意見ニ媚ビテ、不公平極マル所ノ處置ヲ 執ッテ居ルノデアアル、院外ニ於テハ、議長ハ 政友會幹部ノ指令ヲ受ケテ、政友會ノ爲ニ 遊說マデモヤッテ居ルノデアアル

〔當リ前デヤナイカ〕其他發言スル者 多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○土屋清三郎君(續) 一昨日ハ各派交渉會 ノ申合セマデモ無視シテ、交渉會ニ於テ決 議シタル秘密會ヲモ勝手ニ解消サシタナド ハ、專斷モ亦甚シイト謂ハナケレバナラス、 議長ハ政友會ノ議長デハナイ、衆議院ノ議 長デアアル、而モ議會振肅委員會ヲ率先シテ 作ッテ所ノ其人デアアル、議長ハ宜シク其重責 ニ考ヘテ、一舉一動身ヲ以テ範ヲ示ス所ノ 態度ニ出デナケレバナラス、議長ハ吾々ノ 此言ニ對シテ、良心ヲ以テ將來大ニ覺醒セ ラレシコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 只今議事進行ニ關スル

土屋清三郎君ノ御演說ヲ承リマシタ、ソレ ニ對シテ一應議長ノ所信ヲ明ニ致シテ置キ タイト存ジマス

昨日ノ議場ニ於ケル加藤副一君ノ御發言 ハ、國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ニ關スル モノデアリマシテ、所謂議題ニ關係アル議事 進行ノ發言ト認メマス、隨テ議長ガ其通告ニ

接シテ適當ノ時機ト認メマシタル時、即チ池田秀雄君ノ御演説後、小山谷藏君ノ御演説前ニ其發言ヲ許シタノハ、當然ノ措置ト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)殊ニ菅田君ノ質疑ガ、國際關係ニ影響ヲ惹起シタリト言ハレテ居リマス場合、其釋明ヲ促ス所ノ意味ヲ有テ居リマシタモノデアリマス以上ハ、之ヲ輕視スルト云フコトハ洵ニ穩當デナイト思フデアリマス、之ヲシモ議事進行ノ發言トシテ不當ナリトセラレノハ、餘リニ議事進行ノ發言ノ範圍ヲ制限シ過ギハシナイカト思フデアリマス、尙ホ念ノ爲ニ申上ゲマスレバ、將來此種ノ議事進行ヲ許シテ來ルト、濫發ノ虞ガ生ジハシナイカト言フ向モアルヤニ承ルノデアリマスガ、ソレハ發言ノ内容ニ依テ議長ガ常識的ニ判斷致シマシタナラバ、左様ナ心配ノ將來ナカラウト思フデアリマス、又アノ時ニ緊急質問ノ方法ニ依ルノガ相當デアルト云フヤウナ御意見モアルヤニ承リマシタガ、質疑ニ對シテ質疑ハ許サヌデアリマスカラ、緊急質問ト云フコトニスルト、政府ニ對スルコトニナリマシテ、自然、的違ヒトナリマスカラ、議事進行ノ方法ニ依ルノ外ハ、加藤君トシテハナカッタノデアラウト私ハ思ヒマス、次ニ加藤君ノ御發言ガ、松本君ノ質疑ニマデ言及セラレマシタノハ、是ハドウモ穩カデナカッタト思フデアリマス、併シ加藤君ノ御發言ガアツタ以上ハ、松本君ヲシテ發言ノ機會ヲ失ハシムルト云フコトハ、片手落ノ嫌ヒガアルト考ヘマシタカ

ラ、議長ガ松本君ニ御交渉ノ上、機宜ノ處置トシテ發言セシメタノデアリマス、又松本君モ此議長ノ交渉ニ應ジテ御發言ニナッタノデアリマス、隨テ何等議長ノ執リマシタ措置ニ、不當ナルコトハナイト思フデアリマス、要スルニ私ハ議會振肅上必要ナル事柄ニ付キマシテハ、十分注意ヲ致シテ居ル考デアリマスガ、尙ホ此上トモ注意ヲ致ス考デアリマス(拍手)只今土屋君ノ御言葉ノ中ニ、植原副議長ノ交渉中ニ聲明書ヲ發表シタ云々ノ御話ガアリマスガ、私ハ植原副議長ヲ通ジテ、何等ノ交渉ヲ民政黨ト致シタコトハゴザイマセヌ、又前日ノ秘密會ノコトニ干渉シタト云フ御話モゴザイマシタガ、是ハ其當時工藤君ノ議事進行ノ發言ノ場合ニ御答ヲ致シテアリマス通り、何等本議場ノ問題トハナラナイコトナノデアリマス、次ニ黨籍離脱ノコトニ付テ縷、御述ベニナリマシタガ、是ハ既ニ議長ノ所信ヲ公表致シテアリマスカラ、重ネテ茲ニ御答ハ致シマセヌ(拍手)

是ヨリ日程ニ入りマス、日程第一乃至第三ハ同種ノ議案ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案、日程第二、昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、日程第三、大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及

官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案、右ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス、政府ノ趣旨辯明ヲ許シマス——大藏政務次官堀切善兵衛君

第一 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

第二 昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第三 大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會  
造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案  
造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營ニ要スル經費ニ充用スル爲造幣局資金ノ内百二十萬圓ヲ限リ昭和八年度及昭和九年度ニ互リ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ繰入ルベキ金額ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出殘額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案  
第一條 政府ハ昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外六億五千九百五十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲ス

コトヲ得  
第二條 政府ハ昭和八年度一般會計歲出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和九年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案  
昭和七年度末現在ノ官立大學資金ニシテ大阪工業大學ノ用ニ供スルモノ及昭和七年度官立大學特別會計ノ歲入殘餘ニシテ大阪工業大學ニ屬スルモノハ之ヲ帝國大學資金ニ編入スベシ  
前項ノ規定ニ依リ編入シタル資金ハ之ヲ大阪帝國大學ノ資金トシテ區分整理スベシ

昭和七年度官立大學特別會計歲入歲出豫算中翌年度ニ繰越スルモノニシテ大阪工業大學ニ關スルモノハ之ヲ帝國大學特別會計ニ繰越使用スベシ  
大阪工業大學長ニ經理ヲ委任シタル獎學

審附金ノ支拂殘額ハ大學特別會計法第十條ノ規定ニ依リ大阪帝國大學總長ニ經理ヲ委任シタルモノト看做ス

附則

本法ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員堀切善兵衛君登壇)

○政府委員(堀切善兵衛君) 只今議題ニナリマシタ造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、造幣局ノ工場ハ明治初年ノ建造デアリマシテ、建造後數十年ヲ經過致シテ居リマスノデ、改築ヲ要スルモノガ大部分デアリマス、就中熔解及壓延兩工場ニ付テハ、是ガ急施ノ必要ガアリ、又勳章工場ハ、倉庫ノ一部ニ假設備ヲ爲シツ、アル現狀ニ徴シ、此際新營ヲ爲スノ必要ガアリマス、是ガ爲ニ昭和八年度及同九年度ニ互リ、是ガ工場及其ノ附屬設備ノ新營ノ計畫ヲ樹テテデアリマス、而シテ其財源ハ、財政計畫上造幣局資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入レ、之ニ充ツルコト、致シマスル爲ニ、本法律案ヲ提出シテ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマス

四十餘萬圓ノ公債ノ發行ヲ必要ト致シマスルコトハ、曩ニ昭和八年度總豫算ノ大要ヲ大藏大臣ヨリ説明致シマシタ際ニ、申述ベテ置イタ通りデアリマスルガ、其發行ノ爲ニハ、新ニ起債ノ權限ヲ得ルコトガ必要デアリマス、尙ホ昭和八年度ノ歳出ニ於テモ、其内若干ノ金額ハ例年ノ如ク翌年度ニ繰越サル、結果ニナルデアラウト存ゼラレマスガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ八年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌノデ、翌年度ニ於テ募債シ得ルコト、致スコトヲ適當ト認メマス、右ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出致シテ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマス

次ニ議題トナリテ居リマスル大阪帝國大學工學部設置ニ付帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、大阪工業大學ハ昭和八年度以降、大阪帝國大學ニ移シ、以テ同帝國大學ニ工學部ヲ設置スルコト、致シマシタ結果、昭和七年度末現在ノ官立大學資金ニシテ大阪工業大學ノ用ニ供スル金額ナルモノハ、之ヲ帝國大學資金ニ編入シ、大阪帝國大學ノ資金トスル等、帝國大學特別會計ト、官立大學特別會計トノ關涉ニ關スル規定ヲ設クル必要ガゴザイマスノデ、本法律案ヲ提出シテ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シマス

○議長(秋田清君) 質疑ヲ許シマス、田中貢君 (田中貢君登壇)

○田中貢君 只今議題トナリマシタ昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ、質疑ヲ試ミタイト思ヒマス、本案ハ八年度一般會計ノ缺陷ヲ補填スル爲ニ、政府ヲシテ公債ヲ發行シ、又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得セシメントスルモノデアリマス、今日ノ經濟界ヲ動カス最モ大キイ原因ハ、第一ハ爲替相場デアリ、第二ハ通貨膨脹デアリマス、爲替ハ近ク提出セラレル管理法案ニ依ッテ、多少ノ安定ヲ得ルトシマスナラ、將來ノ經濟界ヲ動カス最モ大キイ問題ハ、通貨膨脹デアリマセウ、ソレニ關スル法案デアリマスカラ、極メテ重大ト考ヘマシテ、四ツノ點ニ付テ質問致シタイノデスガ、大藏大臣ハ只今豫算委員會ニ於テ質疑應答中トノコトデアリマス、私ノ述べマス所ヲ政府委員カラ特ニ御傳ヘテ願フテ、大藏大臣自身ノ口カラ本議場ニ於テ、他日適當ナル機會ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

第一ニ本案ノ起債額ハ六億五千九百萬圓デアリマスガ、他ノ法律ニ依ル起債額ト、更ニ特別會計ノモノヲモ合セマスナラ、八年度ノ起債額ハ約十億圓デアリマス、ソレニ七年度分ノ未發行額二億圓ト、追加豫算ノ七千萬圓ガ近ク提出サレルコトニナッテ居ルサウデアリ、恐ラク其財源ハ公債ニ依ルヨリ外ハアリマスマイカラ、今日以後來年ノ三月末迄ニ起債ヲ要スル金額ハ約十三億圓ト云フコトニナリマス、此巨額ノ公債ヲ發行スルニ當リマシテ、政府ハ先ヅ日

本銀行ヲシテ引受ケシメ、市場ノ狀況ヲ見テソレヲ賣出スト云フコトデアリマス、併ナガラ果シテ其通りニ出來ルカ否カト云フコトヲ承リタイノデアリマス、日本銀行ガ公債ヲ引受ケマスト、兌換券ノ増發ニナルハ勿論デアリマスガ、其兌換券ガ經濟界ニ滲ミ渡ッテ行キマスノニハ、相當ノ時間ヲ要シマス、ソコデ一時ニ多額ノ兌換券ヲ出シマスナラ、恐ラク通貨過剩ノ時代ヲ出現スルニ相違アリマセヌ、昨年末ノ様子ハ即チソレデアリマス、此時代ニハ遊資ガ殖エマス、遊資ノ殖エタ時ニハ手持公債ヲ賣却スルコトハ出來マセウ、私ハソレハ當然ナルベキ事デアッテ、ソレガ適當ナ處置ト考ヘマシテ、併ナガラ通貨過剩時代ノ當然ノ結果トシテ、金利ガ安クナッテ、他日事業ガ起ッテ來マスナラ、即チ其處ニ再ビ金利ハ上ッテ來マセウ、市場ニ於ケル通貨ノ需要額ガ殖エテ來マセウ、是ガ時局匡救策ノ目的デアリ、當然其處マデ行カクテハナラヌノデアリマスガ、其時代ニ資金ノ需要ハ殖エテ居リ、金利ハ上ッテ居ル時ニ、果シテ日本銀行ノ有ッテ居ル公債ヲ市場ニ賣放ツコトガ出來ルカドウカ、此點ヲ承リタイノデアリマス、又其時ニ強テ市場ニ公債ヲ出シマスナラ不利益ナ條件デナクチャ出セヌノデアリマス、大藏大臣ノ考ヘテ居ラレル低利借換ト云フコトハ、通貨ノ過剩時代ニハ出來マセウガ、眞ニ流通高ノ殖エル、通貨ノ需要ノアル時ニハ、恐ラク是ハムヅカシイコトデアリマス、大藏大臣ハ其處ヲ何ト御考ヘニナ

ルカ、又其際強テ公債ヲ賣出スナラ、産業資金ヲ吸收致シマシテ、財界回復ノ政策ト  
抵觸スルコトニナル、此點ヲ私ハ承リタイ、  
又サウ云フ時代ニハ、已ムヲ得ズ日銀ガ巨  
額ノ公債ヲ背負ヒ込ムコトニナリマスナラ  
バ、日本銀行トシテハ大キイ問題デアリマ  
ス、最近「マーケット・オペレーション」ト云  
フコトヲ申シマスガ、證券ノ賣買ハ商業手  
形ノ賣買ヲ主トスベキデアリマシテ、公債  
ノ賣買ト云フコトヲ主トスベキデアリマ  
セヌ

〔發言スル者アリ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

○田中實君(續) 又公債ヲ日本銀行ガ持ツ  
ニシテモ、資本ト積立金ノ限度ニ限ラルベ  
キデアルノニ拘ラズ、ソレヲモ越エテ持ツ  
ト云フコトハ財界最後ノ救濟者トシテノ日  
本銀行ノ機能ヲ著シク阻害スルモノト見マ  
スガ、大藏大臣ハ其點ニ付テ何ト御考ヘニ  
ナルカガ承リタイノデアリマス

即チ第一ニ私ハ通貨過剰時代ニ於テハ、  
巧ミニ日本銀行ノ有テ居ル公債ヲ市場ニ  
移スコトガ出來ルガ、眞ニ經濟界ガ活躍シ  
テ來ル時ニハ、其方法ハ出來ヌ、日本銀行  
ガ引受ケルナラ、若シ「ベニツク」ガ來タラ  
大正八年頃ノ膨脹時代ノ後ハドウナッ  
タカ、九年ノ大恐慌、昭和二年ノ金融恐慌  
ニナッタガ、若シアンナ不祥事ガ萬一起ッ  
場合ニ、大藏大臣ハ何ト其處置ヲスルノデ  
アリマスカ、承リタイノデアリマス

第二ニ公債ヲ日本銀行ガ引受ケテ、通貨

ガ膨脹致シマスコトハ、即チ其處ニ金利ハ  
低下致シマス、利息ガ安クナル、利息ノ安  
クナリマスコトハ公債ノ價格ヲ引上げ、低  
利借換ヲ樂ニ致シマスケレドモ、同時ニ其  
時代ニ於キマシテハ、資金ハ公債ヨリカ、  
寧ろ株券ニ行クト云フコトヲ忘レテハナリ  
マセヌ、大藏大臣モ昨日田舎ノ人ガドシ  
株ヲ買フ、成行デ株ヲ買フ、テ吳レト云フ註  
文ヲ持ッテ來ルト申サレマシタ、此點ニ付  
テハ大藏大臣ハ相當警戒シナケレバナラヌ  
ト云フノデ、即チ遊資ヲ引上ゲタト言ハレ  
マスガ、今日ノ財界ニハ隨分素人ガ多イノ  
デアリマシテ、經濟問題ニ付テノ知識ハ國  
民ニ行互ッテ居リマセヌ、隨テ餘程注意ヲ  
シテ掛ラナケレバナラヌ、若シ大藏大臣ガ  
多少デモ樂觀ノコトヲ述ベラレルナラ、  
直チニ投機ノ起ルコトハ無論デアリマセウ、  
其投機ノ警戒ニ付テハ、遊資ノ引上ゲケデ  
ハ足ラヌト思ヒマス、最近農村カラドシ  
株ノ註文ノアル最大ノ原因ノ一ツハ、郵便  
貯金ノ利息ヲ減茶苦茶ニ下ゲテ三分ニシタ  
コトデアリマス、千圓預ケテ年三十圓ト云  
フナラ、株ヲ買フト云フノガ當然デアッテ  
ドシ、株ヲ買フノハ其處カラ來タノデア  
リマセウ、此點ヲ相當考ヘナケレバ、投機  
ヲ抑ヘルコトハ出來マセヌ、ノミナラズ大  
藏大臣ハ遊資ヲ置イテ置クコトガ投機ノ原  
因トナルト仰シヤルガ、遊資ノ出ルコトハ  
株ヲ買フタ後ノコトデアリマシテ、大藏大  
臣ハ投機ノ起ルコト、遊資ノ出ルコトノ  
意味ヲ顛倒シテ考ヘテ居ラレルト思フノデ

アリマスガ、ドウカ其點ヲ承リタイノデア  
リマス

更ニ金利ノ安クナルコトハ、或ル程度マ  
テ望マシイコトデアリ、今日金利ハ大變安  
クナリマシタガ、昭和六年夏頃、日本銀行  
ガマダ割引利率ヲ下ゲテ居ラヌ時、郵便貯  
金ノ利息ヲ下ゲテ居ラヌ時ニ較ベマシテモ、  
今日ノ利息ノ方ガマダ高イノデアリマス  
ラ、低金利政策ノ何ノト言ヒマシテモ、マ  
ダマダ利息ヲ下ゲル餘地ハアリマス、併ナ  
ガラ減茶苦茶ニ之ヲ下ゲテ、ドシ、公債  
ノ發行デ無理遣リニ人爲的ニ下ゲマスナラ  
バ、恐ラク其弊害ノ及ブ所ハ、日本ノ資金  
ハ悉ク逃ゲテ行クデアリマセウ、佛蘭西ガ  
資本逃避防止法ヲ設ケマシテ、有ユル手段  
デ金ヲ逃ガサヌ方法ヲ考ヘマシタガ、悉ク  
失敗デ、最後ニ已ムヲ得ズ金利ヲ引上ゲ、  
資本課稅ヲ減ジマシタラ、漸ク逃ゲル金ヲ  
取押ヘルコトガ出來タ、斯ウ云フ點カラ考  
フルナラバ、低金利政策ノ今日ノ經濟界ヘ  
ノ惡影響、公債ヲ巨額ニ出スコトニ基ク低  
金利ノ惡影響ニ付テハ、大藏大臣ハ十分ニ  
御考ガアルト思ヒマスカラ、其點ヲ承リタ  
イノデアリマス

第三ニハ、無論物價ハ上リマス、其物價  
ノ上リマスコトハ、今迄ノ物價ハ思惑デ上  
タノデ、去年ノ二月ニ上リマシタノハ再  
禁止ノ思惑ダシ、昨年末ニハ「インフレ  
ション」ノ宣傳景氣デ上リマシタ、依テ一  
時下ガルト致シマシテモ、此大キイ豫算デ  
ハ、秋カラ年末ニ掛ケテ相當上ガルト見ナ

ケレバナリマセヌ、從來上リマシタモノハ  
主トシテ爲替ノ關係デアッタガ、將來上ガ  
リマスモノハ通貨膨脹ノ關係デ上リマセウ、  
斯ウ致シマス、從來爲替關係デ儲カッタ  
産業ハ、遠カラズ儲カラナクナルデアリマ  
セウ、公債政策ノ影響ハ、産業ニ算盤ノ採  
レルモノト、採レヌモノトヲ生ズルニ相違  
アリマセヌ、大藏大臣ヲシテ言ハシムレバ、ソ  
レハ今マダ儲ケ過ギタノダカラ、少々損ヲシ  
テ宜イト言ハレルカモ知レマセヌ、ケレドモ  
一方ニ於テ損ヲスル産業ガ出來ルナラ、ソ  
レニ代ッテ儲カルモノガ出來タト云フコト  
ヲ御説明ナサラナケレバ、政治トシテハ親  
切デナイト考ヘルノデアリマス(拍手)

尙ホ物價ニ關シテ、國民生活ノ問題ニ付  
テ言フナラバ、過日此席デ物價ノ上リ下リノ  
御説明ガアリマシタガ、日本銀行ノ小賣相  
場指數ニ依ルト、昭和五年ト今年一月トヲ  
較ベルト、僅ニ五分ノ差シカアリマセヌ、  
若シモウ五分上リマスナラバ、昭和五年ノ  
標準ニ行クノダシ、更ニ一割八分上リマス  
ナラバ、昭和四年ノ數字ニナル、官吏減俸  
前ノ數字ニ間モナク近ヅイテ來ルノデアリ  
マス、之ニ對シテ大藏大臣ハ、物ガ上ッ  
ラ給料ヲ上ゲリヤ宜イデヤナイカ、斯ウ  
言フノデアリマスケレドモ、併ナガラ今日  
ノ財政ヲ見テ、果シテソレガ出來ルカドウ  
カ、更ニ又政府ハ出來ルトシテモ、今日ノ  
財界デ惡影響ヲ蒙ッテ居ル産業ハ、到底此事  
ハ出來ヌデアリマセウ、斯ウ考ヘマス、  
大藏大臣ノ言ハレル程ニ暢氣ニ考ヘテ宜イ

カドウカガ承リタイノデアリマス(拍手)

更ニ貿易ヘノ影響ヲ見マスノニ、金物價ニ換算致シマスト、昨年ハ約八千万圓ノ入超ダサウデアリマス、此金額ハ別ト致シマシテモ、輸出品ハ一昨年ノ十一月ト昨年ノ十一月ト較ベマシテ、三割一分程上テ居ル、之ニ反シマシテ輸入品ハ五割六分位上テ居リマス、斯ノ如ク減茶苦茶ニ輸入品ガ上テ居テ、輸出品ガサウ上テ居ラヌニ拘ラズ、尙ホ相當ノ輸出ヲ遂ゲマシタコトハ、我國ノ産業ガ昭和五年、六年ト整理ヲ致シ、合理化ヲ致シマシテ、堅實ナ底力ヲ得タ賜モノニ外ナラナイノデアリマス(拍手)然レドモ物價ガ上リマスナラ、恐ラク輸出ハ困難ニナリマセウ、加工費ガ上ルト共ニ困難ニナル、其際強ヒテ外ニ賣出スト致シマシタナラバ、是ガ即チ今日問題トナテ居ル勞働ノ「ダンピング」ト云フコトニナリマセウ、勞働ノ「ダンピング」ト云フコトニナリマスナラ、由々シキ問題ト考ヘル、曾テ五十九議會デアッタ思ヒマスガ、堀切サンガ此席デ、政友會ノ政策ハ、高橋是清氏以來人ノ値打ヲ上ゲテ物ノ値打ヲ下ゲルコトニアルト、斯ウ仰シヤイマシタ、今日物ノ値打ガ上テ居ルカラ、ヨリ以上ニ人間ノ値打ヲ上ゲラレルコトガ其政策デアルト考ヘマスガ、ソレニ對スル所見ヲ承リタイノデアリマス(拍手)

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○田中實君(續) 更ニ輸出入ノ將來ヲ見マ

スナラバ、恐ラク今年ノ輸入ハ殖エマス、政府ノ財政モ殖エテ居ルカラ、輸入品モ殖エマス、爲替差損金カラ見テモ、財政關係カラ輸入ガ殖エマス、又日本ノ輸入品トシテハ多ク原料品、食料品デアリマスカラ、減ス譯ニハ參リマセヌ、又通貨ノ膨脹、物價高ハ入超ヲ殖ヤシマス、昨年ハ砂糖ノ輸入ガアリマシタガ、今年ハ鐵、人絹等ガ相當ニ入テ來ルカモ知レヌ、片一方ニ於テ、斯ク輸入ハ減リマセヌ、大シテ減ラナイデアラウト思ヒマスノニ、而モ片一方ニ於テ輸出ハドウカト云フナラバ……

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○田中實君(續) 其輸出ハ恐ラク數量ヲウント殖ヤス外アリマセヌ、ドシク數量ヲ殖ヤサナケレバ輸入ヲ償ヘヌトスルナラバ、其數量ヲ殖ヤシマスコトハ、國內ノ物資ヲ少クスル所以デアルト同時ニ、而モ輸出價格ノ騰貴ハ之ヲ望メマセヌカラ、獨逸デ爲替ガ下落シタ晩年ト同ジヤウニ、自分ノ國デハ飲マズ食ハズデ居テ、ドシク外國ヘ輸出スル、饑餓ノ輸出、斯ウ云フ時代ヲ續ケ、國民經濟ノ將來ニ取リ由々シキ問題ダト考ヘマスガ、大藏大臣ハ何ト御考ヘニナルカ承リタイ

第四ニ私ハ爲替ノ問題ニ付テ承リタイ、近日爲替法案ガ出ルコト、思ヒマスカラ其機會ニ承リタイノデアリマスガ、併シ通貨ノ膨脹ハ當然爲替ヲ下ゲルトハ大藏大臣モ屢、仰シヤテ居ル通りデアリマス、併ナガ

ラ國際貸借ガ均衡ヲ取テ居ル、大體「バランス」ノ取レテ居ル今日ニ、爲替ノ下ガリマスコトハ、主トシテ心理的ノ影響ニ外ナラヌ、其心理的ノ影響ニ付テ、大藏大臣ガ本議場ニ於テ説明セラレタコトハ、外國人ハ割合ニ日本ノ圓價ヲ信用シテ居ルノニ、日本人自身ガ信用シナイコトガ下ル原因ダト、斯ウ言ハレマシタ、何ガ故ニ日本人自身ガ之ヲ信用セヌカト云フナラ、先ヅ大藏大臣自身ガ、爲替ハ下テハナラヌト言テ、覺エハナイトカ、二十弗ヲ支ヘル考ナシテ毛頭ナイトカ、政府ノ方カラ爲替ノ對策ハ何等ナイト云フコトヲ見セラレルコトガ、爲替ヲ下ゲル原因ノ最大ノモノデアリマス、大藏大臣ノ言辭ヲ慎ンデ貫ヒタイト云フコトヲ御取次ヲ願ヒタイノデアリマス、寧ロソレヨリカ此爲替ノ問題ニ付テハ、實勢ヨリ安イノデアルカラ、適當ニ維持スルノニハ、政府ハ金ガ掛ラナケレバ八方努力シタイト述べラレルナラ、恐ラク爲替ハ實勢ヲ反映スルモノニナルト考ヘマスガ、大藏大臣ハ何ト考ヘラレルカ承リタイ、或ハ國民ノ中ニハ、爲替ハ下リサヘスレバ宜イト考ヘテ居ル愚カナ者ガ居ルノデアリマス、何故ソレガ下テ惡イカト言ヘバ、對外拂ガ殖エテ、豫算ニ惡影響ヲ及ボスコトハ勿論デアリ、對外拂ノ多イ市町村ト、對外拂ノ多イ事業會社ガ惡影響ヲ蒙ルコトハ勿論デアリマスガ、産業トシテモ、今日爲替ノ下落シタ爲ニ成立チ行カヌモノガアリ、農村自身ニ於テサヘ、肥料ノ暴騰ニ對シテ、農

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○田中實君(續) 輸出ガドシク殖ヘルコトハ喜ブベキガ如クデアリマスガ、日本ノ氣ノ利イタ美術品ヲ外國ニ安ク持チ逃ゲラレルナラ、是ハ由々シキ問題デアリマス、獨逸ノ「インフレーション」ノ晩年ニ、美術品ヲ外國ヘ出スコトニ制限ヲ加ヘマシタ、高級美術品ノ輸出ニ制限ヲ加ヘマシタ、恐ラク日本ニ於テモ、將來之ヲ考ヘテ置クコトガ必要ダト考ヘマス

其次ニ更ニ大キイ問題ハ、只今コソハ滿洲事件ガ面倒デ、戰爭ノ脅威ガアルト見ラレテ居リマスカラ、外國人ハ日本ノ證券ニ手ヲ出シマセヌガ、若シ此問題ガ圓滿ニ片付クナラバ、一流會社ノ株券ハ、外國人ガ買ヒニ來ルデアリマセウ、日本人自身モ亦資本逃避ノ目的デ以テ、賣リニ行クデアリマセウ、是ガ大キイ問題デアアル、多少ノ證券ノ海外ニ出ルコトハ、無論喜ブベキコトカモ知レマセヌガ、有力ナ會社ノ大部分ノ株ヲ持テ行カレ、經營權ヲ持テ行カレルト云フコトハ、由々シキ間

題デナケレバナリマセヌ、獨逸ハ此問題ニ對シテ決議權株式「スチンム・レヒツ・アクチエー」ト云フノヲ發行シテ對抗策ヲ講ジマシタ、大藏大臣ハ今日爲替對策ニ付テ相當御用意アリト伺フテ居リマスガ、私ノ想像スル所デハ、其程度ノ御用意デハ通貨膨脹ノ進ムニ從ヒ、將來爲替ガジリ安カモ知レマセヌ、斯ウ云フ時ニ於ケルソレゾレノ策ヲ講ジラレテ居ルカ承リタイノデアリマス

私ハ以上ノ四點ニ付テ大藏大臣ノ所見ガ承リタイ、私ハ何故ソレヲ聽クカト云フト、今日ノ財政ニ付テハ、國民ハ大ニ不安ノ念ヲ持ッテ居リマス、本案ニ依ル公債ノ發行ハ、財政ニ大キイ影響ヲ及ボスコト勿論デアリマスガ、更ニ大キイ影響ヲ經濟界ニ及ボスデアリマセウ、其經濟界ガ壞レマスノデハ、財政モ何モアツタモノデハアリマセヌ、財政ノ母ハ經濟デアリマス、其經濟界ヲシテ守ルコトガ必要デアアル、財政ノ問題ハ國內的ニ權力ヲ持ッテ片付ケルコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、經濟ガ一タビ壞レマシタラ、ドウシヤウモナクナルデセウ、是ニ於テ私ハ今日ノ經濟ガ多少回復ヲ見タトハ言ッテモ、大藏大臣ハ本議場ニ於テ官民一致ノ努力ヲ必要トスルト云フテ居ラレルガ、官民一致ノ努力ヲスル必要ガアルナラバ、國民ニ此狀態ヲ知ラシムルコトガ必要デアアル、其知ラシムルノニハ以上ノ四點ヲ通ジテ、是ダケ大キイ公債ヲ出スノダガ、影響ガアルノカナイノカ、若シアリトス

ルナラバ——アツテモ此程度ハ已ムヲ得ヌ、國策ノ遂行ヲヤルノダカラ國民ハ我慢シテ呉レトカ、ナイノナラナイト云フテ其點ヲハッキリシテ、國民ヲシテ安心シテ隨テ行カシメナケレバナリマセヌ、私ハ以上ノ四ツノ點ヲ質問致シマシタガ、大藏大臣ノミノ御答辯ヲ要求致シマスノデ、他日適當ナ機會ニ於テ御答辯ヲ願フコト、致シテ、質問ヲ打切りタイト思ヒマス(拍手)

フコトヲ此間マデ或ル内閣ハヤッテ居タ(拍手)日本バカリヂヤナイ、世界各國デモ、斯ナコトヲヤッテ居テ、サウシテ其結果非常ナ經濟界ノ不況ヲ現出致シマシタカラ、之ヲ今直サナケレバナラヌ、即チ或ル程度ノ所マデ物價ヲ上ゲルノガ、經濟界ヲ回復スル所以ノ途ナリト世界中ノ識者ガ、殆下是ハ一致スルヤウニナッテ參ッタノデアリマス、總テノ問題ハ、人ヲ本位トシテ判斷施設シナケレバナラヌト云フヤウニナッテ參ッタノデアリマス、人ハ本デアッテ物ハ末デアアル、然ルニ之ヲ取違ヘタ爲ニ、非常ナル間違ニ陥ッタノデアアル(拍手)今デモ私ハ左様ニ感じテ居リマス、是ダケ御答辯申上ゲマス(拍手)

ズルノデアリマス(拍手)但シ其事情ハ萬々御察申上ゲル、今此法律案ノ根幹タル豫算ガ豫算委員會ニ廻ッテ居リマシテ、大藏大臣ハ其委員會ニ御出席ニナッテ居ラレル關係上、此重大法案ヲ自ら御説明ニナルコトガ出來ナイト云フ、其事情ハ萬々御察申上ゲルノデアリマス、私ハ大藏大臣ヨリ直接ニ御答辯ヲシテ戴キタイコトハ、田中君ト同様デアリマス、隨テ極メテ簡單ニ此重要問題ニ關シテ二三箇條御尋ヲ申上ゲテ、吾等ノ疑惑ヲ解キタイト思フノデアリマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 只今田中君ノ御質問ニ關聯致シマシテ、大藏大臣ヨリ直接御答辯ノ御希望ノ趣ハ承知致シマシタ、吾々ヨリ傳ヘロト云フコトデシタカラ、御希望ヲ尊重致シマシテ、最モ間違ナク正確ニ傳ヘル積リデアリマスガ、併シ吾々ガ耳デ聽イタヨリモ、現ニ此處ニ速記者ガ居テ、一切速記ヲシテ居ルノデスカラ、其速記ヲ見テ御答辯願フコトニ致シマス、隨テ私ハ何モ申サヌガ、唯、私ガ何時カノ議會デ、政友會ノ政策ハ高橋總裁以來人ノ値打ヲ上ゲテ、物ノ値打ヲ下ゲルノダト申シタガ、是ハ今デモサウ思フテ居ルカト云フ御質問、是ハ私ノ自分ノ演說ニ對スル御質問デアリマスルカラ、是ダケハ御答申シテ置キマス

○小山谷藏君 只今政府ノ御提案ニナリマシタ三ツノ法律案ノ中、昭和八年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、此法案ニ付テ政府ニ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマス、此法律案ハ現在議會ノ最大關心ヲ持チ、而シテ國民ニ非常ナ不安ヲ懷カシメテ居ル所ノ、昭和八年度ノ豫算、其豫算ノ核心ヲ成ス、即チ歳入ノ不足、之ヲ借金ヲ以テ埋メヨウト云フ法律案デアリマスカラ、要スルニ昭和八年度豫算案ノ中心ガ、此法律案ニ在ルト申シテモ宜シイノデアリマス、此重大ナル法案ヲ提案サル、ニ當ッテ、大藏大臣御自身ガ此議場ニ御見えニナラヌト云フコトハ、吾々頗ル遺憾ニ存

先ヅ第一ニ此六億六千万圓ニ近イ公債ノ發行方法ヲドウナサルノデアアルカ、昭和七年度ノ公債ヲ發行サル、ニ當ッテハ、總テ之ヲ日本銀行ニ引受ケサスト云フコトヲ吾々ハ承知致シテ居ッタノデアリマスガ、昭和八年度ノ此龐大ナル公債ヲ發行サル、ニ當ッテ、昭和七年度ト同様ノ方法、即チ日本銀行ニ之ヲ引受ケサセルト云フ御考デアリマスルカ否ヤ、又思フニ預金部ニモ之ヲ應募スル能力ハ最早無イト御察申上ゲルノデアリマス、民間ニ是ガ應募ノ能力アリヤト云フコトニ付テハ、多大ノ疑問ガアル、隨テ昭和七年度同様、先ヅ日本銀行ヲシテ之ヲ引受ケサセナケレバナラヌト云フコトニナルコト、推察スルノデアリマスガ、果シテ其通りデアアルカ否ヤ、是ガ第一點デアリマス、若シサウダトスレバ、此公債發行ノ爲ニ大ナル通貨ノ膨脹トナリ、只今田中君ガ言ハレタ如ク、經濟界ニ重大ナ影響ヲ及ボスコトハ、當然ノ結果トナッテ來ルノデアリマ

イノデアリマス(拍手)

ス、ソコデ昨日來モ此議場ノ重大ナ問題ノ一ツトナリマシタ如ク、政府ハ所謂日本銀行ノ通貨統制ノ方法ニ依ッテ、此通貨ノ大増發ヲ調節スルト云フコトニシテ、先ヅ日本銀行ガ此公債ヲ引受ケテ、而シテ世ニ所謂「オーブン・マーケット・オペレーション」ノ力ニ依ッテ、其通貨ヲ調節シヨウト云フコトニナラレルノデアリマセウ、私ハ其場合、日本銀行ノ「オーブン・マーケット・オペレーション」ナルモノガ、ドノ程度マデ效果ヲ及ボシ得ルモノデアルカ、此點ニ多大ノ疑問ヲ持ツノデアリマス、若モ其機能ガ、政府ノ期待サレルガ如ク十分ニ働キ得ラレルモノデアルトスルナラバ、所謂經濟界ニ對スル壓迫影響ハ甚シクナイデアリマセウガ、ソレガドノ程度マデ働キ得ルカト云フ、此點ニ關スル政府ノ御見込ヲ明ニシテ戴キタイノデアリマス

第三ニ、スル公債政策ヲ根幹トシテ豫算ノ實行問題デアリマス、私ハ此方針ヲ以テ昭和八年度ノ財政ヲ實行シテ進デ参リマシルト云フト、又來年ノ今頃ハ、通貨ノ大膨脹及物價ニ及ボス所ノ影響ノ爲ニ、政府ハ再ビ此議場ニ、豫算實行不可能ヨリ生ズル追加豫算ノ、又公債増發ノ要求ナシト云フコトヲ斷言シ得ルヤ否ヤト云フ此一點デアリマス(拍手)何故ニ斯ウ云フ疑問ヲ抱クカト云フコトニ付キマシテハ、他ノ機會ニ於テ吾々ノ所見ヲ申上ゲル積リデアリマスルガ、此一點ハ極メテ豫算ノ實行上、政府ニ取ッテハ重大ナル責任ガアルト考ヘルノデアリマスルカラ、之ニ對スル明確ナル政府ノ御答辯ヲ御願申上ゲルノデアリマス

以上三點ニ跨ッテ、大藏大臣自身カラノ簡明ナル御答辯ヲ要求シテ置キマス(拍手)  
○議長(秋田清君) 此場合一言シマス、大藏大臣ハ只今豫算總會ニ出席サレテ居リマス、隨テ小山君ヨリ直接大藏大臣ノ答辯ヲ求メラレルニ於キマシテハ、他日ノ機會ニ願フノ外ハナカラウト思ヒマスガ、小山君、ソレデ宜シウゴザイマスカ  
○小山谷藏君 議長ノ仰セノ通りデ結構デアリマス

由ヲ簡單ニ申上ゲマス、今回鐵道敷設法ヲ改正シ、其別表ニ追加セントスル線路ハ、靜岡縣二俣ヨリ愛知縣豐橋ニ至ル鐵道、愛媛縣卯之町ヨリ吉田ヲ經テ宇和島ニ至ル鐵道及北海道根室國中標津ヨリ釧路國標茶ニ至ル鐵道ノ三線路デアリマス、即チ二俣豐橋間ノ鐵道ハ、既定線掛川二俣間ノ鐵道ト相俟ッテ、濱名湖ノ北ヲ廻リ、東海道本線ノ補助線トナリマシテ、一朝有事ノ際國防上必要ナルト共ニ、沿道産業ノ發達ニ資セントスルノデアリマス、卯之町吉田宇和島間鐵道ハ、第三百三號線ニ屬スル八幡濱ヨリ卯之町、宮ノ下ヲ經テ宇和島ニ至ル線路中、八幡濱卯之町間ト相俟ッテ、同ジク八幡濱宇和島間ヲ結ブ線路トナルノデアリマスガ、本線路ハ八幡濱方面ト、宇和島トヲ連結スル線路トシテハ、前述ノ第三百三號線及第四百四號線、即チ大洲附近ヨリ近永ニ至ル鐵道ニ依ルヨリモ、種々ノ點ニ於キマシテ優ルモノガアルト考ヘルノデアリマス、中標津標茶間鐵道ハ附近ノ原野ヲ開發スル爲メ、拓殖上必要ト認メタノデアリマス

思フニ本年度並ニ明年度ニ關聯致シマシテ、約二十億ニ近イ公債ヲ發行シテ、日本銀行ノ通貨統制ノ力ニ依ッテ、此二十億ニ近イ大ナル公債ガ、ドノ程度マデ調節シ得ルカ、換言スレバドノ程度マデ通貨ガ膨脹スルノデアアルカ、現在十億乃至十一億程度ノ通貨ガ我國ノ市場ニ出テ居ルノデアリマスガ、昭和八年度豫算ヲ實行致シマシタ其結果ニ於テ、十億乃至十一億程度ニ止ッテ居ル此通貨ガ、果シテドノ位ノ大キサニ膨脹スルノデアアルカ、ドノ程度マデ政府ハ之ヲ調節スル機能アリヤ、此點ニ關スル政府ノ御見込ヲ明ニシテ戴キタ

○議長(秋田清君) ソレデハ質疑ハ終局致シマシタ——日程第四、右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス  
第四 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

要スルニ是等ノ線路ハ、地方開發又ハ軍事上必要ニシテ、且ツ鐵道經營上カラモ有利ト認メラル、モノデアリマシテ、何レモ昭和八年度ヨリ建設工事ニ著手致シタイト考ヘテ居リマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本案ヲ提出致シタ次第デアリマスカラ、何卒御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス  
○議長(秋田清君) 質疑ヲ許シマス——大本貞太郎君

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(秋田清君) 御異議ナキモノト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五、鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——鐵道大臣三土忠造君

第五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
鐵道敷設法中改正法律案  
鐵道敷設法中左ノ通改正ス  
別表第六十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
六十三ノ二 靜岡縣二俣ヨリ愛知縣豐橋ニ至ル鐵道  
別表第三百三號中「卯ノ町」ヲ「卯之町」ニ改ム  
別表第三百三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
百三ノ二 愛知縣卯之町ヨリ吉田ヲ經テ宇和島ニ至ル鐵道  
別表ニ左ノ一號ヲ加フ  
百五十 根室國中標津ヨリ釧路國標茶ニ至ル鐵道

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
附則  
〔國務大臣三土忠造君登壇〕  
○國務大臣(三土忠造君) 只今上程サレマシタル鐵道敷設法中改正法律案ノ提案ノ理

○議長(秋田清君) 日程第四、右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○議長(秋田清君) 質疑ヲ許シマス——大本貞太郎君



〔大本貞太郎君登壇〕

○大本貞太郎君 私ハ只今鐵道大臣カラ御述ベニナリマシタ御説明ニ對シマシテ、愛媛縣ニ關係ノアリマスル路線ニ對シテ一二御質問ヲシタイト思フノデアリマス、鐵道大臣ノ御説明ニ依リマス、現在マデ確定シテ居リマシタ所ノ百四號線ヲ線下ゲマシテ、新線ニ變更シヨウト云フノデアリマス、之ニ付キマシテ私ノ第一ニ御尋ネシタイノハ、鐵道大臣ハ最モ緊急ニ追テ居ル四國循環鐵道ノ路線ニ對シテ如何ナル御考ヲ有テ居ルカ、斯ウ云フコトデアルノデアリマス、元來四國ハ鐵道ニ於テハ非常ニ不遇ナ境遇ニアルノデアリマス、未ダニ四國ヲ環スル鐵道ガ出來テ居リマセヌ、鐵道大臣モ四國ノ人デアリマスカラ、能ク御分リニナテ居ルト思ヒマスルガ、現在ニ於キマシテハ、伊豫阿波及讃岐カラ土佐ヘ入りマスルノニハ、波ノ高ク荒イ太平洋ヲ船デ行クカ、或ハ千丈ノ山ヲ仰ギ、下ニハ萬仞ノ谷ヲ望ミ、危險ナ山路ヲ自動車ヲ交通スルヨリ外ナインデアリマス、是ガ爲ニ四國四縣三百五十万人ノ民衆ハ、色々ノ方面ニ於テ非常ナ惡影響ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、之ヲ軍事上カラ申シマシテモ、洵ニ名狀スベカラザル所ノ障碍ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマス、現ニ昨年ノ上海事件ニ於キマシテモ、此交通不便ノ爲ニ、折角出征致シマシタ所ノ高知聯隊ガ、日ガ一日遅レマシタ爲ニ、戰線ニ於キマシテ非常ナ不利益ヲ見マシテ、我が皇軍ガ非常ナ損失ヲ被リマシタコトハ

公然ノ祕密デアリマシテ、皆サン能ク御承知ノコトデアルト思フノデアリマス、斯ノ如ク四國ヲ循環致シマス所ノ鐵道ハ、一日モ閉却スベカラザル緊急事デアアルノデアリマスガ、鐵道大臣ハ之ニ對シテ如何ナル御考ヲ有テ居ルノデアルカト云フコトヲ私共ハ疑フノデアリマス、何トナレバ四國ヲ循環致シマス鐵道ヲ完成シヨウト思ヒマスレバ、在來確定ヲ致シテ居リマシタ所ノ百四號線ヲ線下ゲマシテ、新線ヲ造ルト云フコトハ、洵ニ無謀ナ事柄デアアルノデアリマス、何トナレバ百四號線ヲ廢棄致シマシテ新線ヲ造リマスレバ、將來四國ヲ循環致シマス路線ト致シテハ、數十哩ノ大迂廻ニナルノデアリマス、是ガ爲ニ將來ニ於キマシテ時間及運賃ノ上ニ於テ、幾何ノ損失ヲ受クルヤモ計リ難キモノガアルノデアリマス、私ハ第一ニ鐵道大臣ハ此四國ノ循環路線ニ對シマシテ、如何ナル御意見ヲ有テ居ルカト云フコトニ對シテ、明確ナル御答辯ヲ望ム者デアリマス(拍手)

又只今ノ御説明ニ依レバ、經濟上、軍事上、其他ニ於テ、此變更方適當デアルト云フヤウナコトヲ御述ベニナリマシタガ、軍事上ノ事柄ハ只今私ガ申シマシタ、最モ適切ナル一例ニ依リマシテ明瞭デアルト思ヒマスガ、此沿線ノ人口、戸數、物資ノ上カラ見マシテモ、今回鐵道省ガ無謀ナル變更ヲセントスル所ノ新路線ハ、既定線ニ對シマシテ數等劣ルノデアリマス、即チ既定線ノ百四號線ノ沿線ハ、戸數三万九千四百戸、

人口十九万八千二百人ニ上リマシテ、生産品ノ價額ハ年額二千二百萬圓ニ上ルノデアリマスガ、鐵道省ニ於テ變更セントスル新線ノ附近ノ人口ハ、是カラ約三割方少イノデアリマス、殊ニ私共ノ洵ニ怪訝ニ堪ヘヌノハ、變更セントスル新線ハ主トシテ海岸ヲ通ルノデアリマシテ、舟運ノ便利ガ非常ニ宜イ所デアアルノデアリマス、デゴザイマスカラ物資ニ於テモ二割モ三割モ劣リ、人口ニ於テモ劣テ居リマスノミナラズ、是等ノ交通及物資ノ輸送ニ當リマシテハ、新線ニ於キマシテハ海路ヲ利用スル所ノ點ガ非常ニアルノデアリマス、區々タル百萬圓ヤ二百万圓建設費ガ違フト云フ理由シテ、何レノ方面カラ見マシテモ、非常ニ險惡ナル此新線ヲ採ラウト云フコトハ、洵ニ無謀極マル所ノ計畫デアリマシテ、私共ノ到底肯ノ出來ヌ所デアリマス、是等ニ對シマシテ鐵道大臣ノ御答辯ヲ御願致シマス

〔國務大臣三土忠造君登壇〕

○國務大臣(三土忠造君) 大本君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、只今大本君ガ御述

ニナリマシタ通り、四國ノ太平洋方面ト、瀬戸内海方面トノ間ヲ連絡スベキ路線ハ、今日ニ至ル迄マダ一ツモ完成シテ居ラヌノデアリマス、全國各地ト較ベマシテ、四國ハ如何ニモ鐵道建設ノ事業ハ遅レテ居リマス、ソコデ私ハ先ヅ以テ高松高知間ノ土讚線ノ完成ヲ急グ方ガ急務ト考ヘマシテ、御承知ノ通り臨時議會ニモ財政計畫ヲ變更シテ、相當懇切ニ線延ヲヤツテ、昭和十年ニ

完成スルコトニナツテ居リマス、是ガ出來マスト云フト、土佐ト瀬戸内海トノ連絡ハ全ク付クノデアリマス、其次ニ只今問題ニナツテ居リマス所ノ南豫方面、即チ愛媛縣ノ西南部カラ高知縣ヘ入ル鐵道デアリマスガ、之ニ付キマシテハ、實ハ鐵道省ニ於キマシテマダ其路線ニ付キマシテ確定致シマシタル調査ガ出來テ居リマセヌ、出來レバ財政上、經濟上、運輸ノ都合カラ考ヘマシテ、彼ノ方面カラモ土佐ノ方ヘ入りマス鐵道ヲ一ツ開キタイト考ヘテ居リマス、其路線ガマダ決マラスノデアリマス、今回變更致シマシタ計畫ト云フモノ、所謂百四號線ナルモノハ、大洲カラ近永ヘ行ク線デアリマシテ、最初此計畫ヲ定メマスル前ニ、御承知ノ通り今ノ百三號線ノ方ヲ出來レバ採リタイト云フコトハ、彼ノ地方ノ人々モ、當時愛媛縣ノ關係代議士諸君モ、熱望サレタノデアリマシタガ、鐵道省ニ於キマシテハ、技術上非常ナ急勾配等ノ爲ニ工事ガムツカシイ、又建設完成ノ曉ニ於テ、運輸上支障ガ多イト云フヤウナ事カラ、已ムヲ得ズ地方ノ諸君トモ御相談ノ上デ、所謂百四號線ヲ選ンダノデアリマス、百四號線ガ豫算ニ計上サレマシタノハ、慥カ大正十三年ダツタト思ヒマス、其後屢、線延ヲサレマシテ、今日ニ至ルマデ十年間待タサレテ居ル百四號線ヲ希望シテ居ル沿線ノ人々ニハ、洵ニ氣ノ毒デアリマス、十年間待サレテ置イテ、サウシテ茲ニ變更スルト云フノデアリマスカラ、私共衷心ヨリ御氣ノ毒ニ思フノデア

リマスガ、唯奈何セシ鐵道技術ノ方面カラ考ヘテ、將來完成後ニ於ケル收益歩合カラ考ヘマスルト云フト、只今大本君ハ非常ニ一方ガ好イヤウニ仰シヤリマスガ、鐵道省ノ見ル所デハ全然反對デアリマス、而シテ八幡濱迄ハ何レニ致シマシテモ架ルノデアリマスシ、ソレカラ百三號、百四號ニ拘ラズ、宇和島、近永線ハヤルノデアリマス、結局宇和島ト八幡濱ヲ經テ大洲ヘ來ルノガ宜イカ、宇和島カラ近永ヲ經テ大洲ヘ來ルノガ宜イカト云フト比較致シマスト云フト、鐵道省ノ計算ニ於キマシテハ、殆ト比較ニナラヌ程總テノ點方所謂百三號線ノ方ガ優良ト見テ居ルノデアリマス、如何ニモ地方ノ人々ニハ氣ノ毒デアリマスケレドモ、國家財政ノ上カラ、鐵道ノ經營ノ上カラ已ムラ得ズ茲ニ變更致シタノデアリマス、將來ノ伊豫土佐ノ連絡ニ付キマシテハ、出來ルダケ完成致スヤウニ考ヘテ居リマス、唯財政及技術、總テノ點カラ一層考究ヲ要スル點ガアリマス

尙ホ附加ヘテ置キマスルガ、今度ノ變更シタ線ヲ建設致シマスト云フト、將來愛媛縣、高知縣ヲ循環スル鐵道ノ上カラ申シマスルト云フト、距離ガ長クナルト云フコトデアリマスルガ、是ガ先刻申ス通りマダ線路ガ決テ居リマセヌ、近永ヘ大洲カラ行テ、アレカラ須崎ノ方ヘ行クト致シマストドウナルカト云フト、是ハ研究サセテ居リマスルガ、今ノ所デハ四萬十川ノ線路ヲ通テ行クト云フコトハ、マダドウモ安心ガ出

來マセヌ、尙ホ是カラデモ研究致スコト、致シマス、是ヲ以テ御答ト致シマス

(大本貞太郎君登壇)

○大本貞太郎君 只今鐵道大臣ノ御答辯デハ、私ガ御質問申上ゲマシタ第一ノ理由、即チ四國循環線、伊豫土佐ヲ連結スル所ノ路線ニ對シテハ目下研究中デ、マダ路線ガ確定ラシテ居ラナイ、併ナガラヤル考デアアル、斯様ナ御答辯デアリマシタガ、第一ニ此御答辯ハ甚ダ怪シカラヌ御答辯デアアルト私ハ考ヘルノデアリマス、何トナレバ鐵道大臣ハ伊豫土佐ヲ連結スル路線ハ研究中デヤト云フテ居リマスルガ、現ニ別號ニ出テ居ル私鐵道買収案中ニ、宇和島近永間ノ宇和島鐵道ノ買収案ヲ出シテ居ラレルノデアリマス、宇和島迄建設ヲ止メルト云フノナラバ、成程鐵道大臣ノ仰セニナルガ如ク、マダ將來伊豫土佐ヲ連結スル線ノ研究中デアルト言テモ首肯ガ出來ルノデアリマスガ、既ニ近永マデ買収スル以上ハ、如何ニ鐵道大臣ガ仰セラレテモ、伊豫土佐ヲ連結スル所ノ路線ハ、近永カラ土佐ノ須崎ヘ出ル線ヨリ外ハナイノデアリマス、斯ノ如ク一方ニ於テハ、表面ハ如何様ニ申サレテモ、實際ニ於テハ伊豫土佐ヲ連結スル路線ニ對シテハ、十分將來ノ事柄ヲ御考慮ニナラナシテ、宇和島鐵道ノ買収案マデ出シテオ出デニナリナガラ、マダ此路線ガ研究中デアルト云フヤウナ詭辯ヲ鐵道大臣カラ聽キマスルコトハ、私共ノ甚ダ遺憾ニ存ズル所デアリマス(拍手)

又私ガ先刻申上ゲマシタ人口物資ノ比較ニ對シマシテ、鐵道大臣ハ、ソレハ大本ノ調査シタ所ニ依レバ百四號線ノ方ガ有利デアアルガ、鐵道省ノ調査ラシタ所デハ新線ガ有利デアアルト云フヤウナコトヲ御答辯ニナリマシタガ、是モ全ク私ハ鐵道省ノ調査ガ頗ル當ラ得テ居ラナイノデアルト考ヘルノデアリマス、元來私ハ斯様ナコトヲ此處デ申シタクナイノデアリマスルガ、何故ニ百四號線ガ線下ニナラテ、突如トシテ新線ガ出來タカト云フコトヲ、私共ガ段々探索ラシテ見マス、是ハ鐵道省ノ或ル局長ニ、今回ノ新線ガ通過スル所ノ吉田町ト云フ所カラ出テ居リマス所ノ局長ガアルノデアリマス、其局長ガ色々局内ヲ策動致シマシテ、サウシテ他ノ局長モ容喙シテ斯様ナ線ヲ作ラタノデアリマス、然ルニ洵ニ一面カラ申シマスルト、超政黨ニ純真ナル考ヲ持テ居ラレマス所ノ鐵道大臣ハ、一ニモ二ニモ是等ノ局長連ノ言フコトヲ信用サレテ、此新線ノ變更ニ同意ラサレタモノデアラウト私ハ思フノデアリマス(拍手)デゴザイマスルガ、是ガ眞ニ國家的ノ見地カラ見マシテ、新線ノ變更ガ有利デアアルト云フノデ、變更ラサレルノデアラナラバ、今日ノ此時局柄ニ對シマシテ、私共モ謹ンデ了承スルノデアリマスルガ、其理由ハ私ガ只今申述ベマシタ如ク、一ニノ局長ガ唯々其出身地ニ媚ンガ爲ニ、策動シタル所ノ理由ニ過ギヌト私共ハ斷定ラシテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ政黨問題デアリマセヌ

(ヒヤク)私ノ次ニ民政黨ノ武知君ガ質問ヲスルコトニナラテ居リマスルガ、此問題ハ超政黨問題デアリマス(拍手)私共ハ鐵道大臣ノ御答辯ニ對シマシテハ、徹頭徹尾首肯スルコトガ出來ヌノデアリマスルガ、何レ委員會ニ於キマシテ尙ホ此上御質問ラシテ、御答辯ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣三土忠造君登壇)

○國務大臣(三土忠造君) 只今ノ大本君ノ御發言ハ、御質問デアリマセヌノデ、何レ詳シイコトハ委員會デ質問應答ヲ致シタイト存ジマス、唯々此線路ヲ決定致シマスルニ付キマシテ、此愛媛縣ノ同方面カラ出テ居ル局長ガ策動シテ、他ノ局長ヲ動カシテ決定シタヤウニ言ハレマスガ、ソレハ本人ノ爲ニモ非常ニ迷惑デアアルノミナラズ、私共責任者ト致シマシテ、左様ナ輕々ナコトデハヤテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ置ク必要ガアラウト思フノデアリマス、ソレハ丁度今度百三號線ノ追加ニナラテ居リマスル所ノ、吉田ト云フ所カラ出テ居リマスル局長、山下興家ト云フ局長ガアリマス、是ハモウ非常ナ學者デアリマシテ、此人ガ策動シタト云フ意味デアラウト思ヒマスルガ、此人ハ人物カラ中シマシテモ、左様ナコトニ關係スル人デアリマセヌ、又鐵道省ニ於キマシテモ、左様ナコトデ此重大問題ヲ決定致ス管ハアリマセヌ、殊ニ先刻申上ゲマシタル通り、百四號線ノ沿線ノ人ハ十年前ニ豫算ヲ計上サレテ、二度モ三

度モ繰延ベラレテ、待タサレタノデアリマ  
スルノデ、私共ハ決シテ口先デ申スノデハア  
リマセヌ、慎重ニ考慮サレタ結果、洵ニ氣  
ノ毒デアルガ、國家全體カラ見テ已ムヲ得  
ナイト云フ見地カラ、是ハ仕方ガナイノデ  
アリマスカラ、此點誤解ノナイヤウニ願ヒ  
マス

〔武智勇記君登壇〕

○武智勇記君 私ハ鐵道施設法ノ上程致サ  
レマシタ此機會ニ、豫算面ヨリ削除セラレ  
テ、施設法豫定線ニ繰入レラレマシタ第百  
四號線ノ問題竝ニ鐵道建設ノ御方針ニ對ス  
ル大臣ノ御信念ニ對シテ、御伺ヲ致シテ見  
タイト思フノデアリマス

御承知ノ如ク鐵道會議ニ於キマシテモ、三  
土氏御出身ノ政友會内部ニアリマシテモ、論  
議ノ焦點トナリマシタノハ、此四國ニ於ケ  
ル第百三號線ト第百四號線トデアリマシタ  
ノデ、私ノ質疑モ、主トシテ四國方面ニ重心ヲ  
置クコトヲ豫メ御諒承ヲ願ヒマス、四國御  
出身ノ三土鐵道大臣ニ、四國ノ鐵道文化ノ  
實情ヲ申上ゲルト云フコトハ、釋迦ニ說法ノ  
嫌ヒハアリマス、殊ニ只今申上ゲマスルヤ  
ウニ——鐵相ノ御話ニアツタ如ク、大本君ガ  
問題ニセラレタ工作局長ガ愛媛縣人デア  
ルノミナラス、監督局長喜安君、運輸局長日  
淺君モ愛媛縣人デアリマス、此間ノ愛媛縣  
ノ事情ニ付テハ、鐵道大臣ハ十分御承知ノ  
筈デアルト思フノデアリマス、私ハ技術上  
ノ方面ノコトヨリモ、何故既定建設線デア  
タ第百四號線ガ、突如トシテ豫算面カラ削

除セラレ、豫定線ニ繰込マレタカト云フ其  
理由ニ付キマシテ、皮相の方面カラ御尋申  
上ゲテ見タイト思フノデアリマス(君モ愛  
媛縣人ダト呼フ者アリ)

今回御提案ニナテ居リマスル鐵道敷設  
法中改正法律案ノ別表第百三號ニ次ノ一號  
ヲ加ヘル、即チ愛媛縣卯之町ヨリ吉田ヲ經  
テ宇和島ニ至ル新線ヲ御認メニナリマシタ  
コトニ依リ、更ニ又八幡濱ヨリ卯之町ニ達  
スル第百三號線一部豫定線ヲ建設線ニ繰上  
ゲラレマシタコトニ依リマシテ、此恩惠ヲ  
地方ニ與ヘタガ爲ニ、第百四號線、即チ大  
洲近水ニ至ル既定建設線ガ削除セラレタト  
云フコトハ、如何ナル理由デアアルカト云フ  
コトヲ御尋申上ゲタイノデアリマス

御承知ノヤウニ全國ニ於キマシテ新線ガ  
認メラレタノハ、提案中ニモアルヤウニ  
愛媛縣ノミデハアリマセヌ、北海道根室國ノ  
中標津ヨリ釧路國ノ標茶ニ至ルノモ新線デ  
アリ、更ニ静岡ノ二俣ヨリ豊橋ニ至ルノモ  
新線デアツテ、獨リ愛媛縣ノミガ新線ヲ認メラ  
レタノデハアリマセヌ、豫定線ガ新設線ニ  
繰上ゲラレマシタノモ、是亦愛媛縣バカリ  
デハアリマセヌ、盛岡山田間ヲ延長シテ釜  
石ニ至ル線路ガアル、更ニ又一ノ關、大船  
渡間ヲ延長シテ釜石ニ至ル線モ、豫定線ガ  
建設線ニ繰入レラレタノデアリマスカラ、  
四國ノミニ於テ新線豫定線ガ繰上ゲノ恩典  
ニ浴シタノデナイニモ拘ラス、其喜ビヲ受  
ケルコトニ依ッテ、四國愛媛縣ノ第百四號線  
ノ沿線ノ人々ノミニ迷惑ヲ掛ケ、既定ノ權

利ヲ剝奪セラレタト云フニ至リマシテハ、  
餘リニ私ハ片手落ちノ仕打デハナイカト  
思フノデアリマス(拍手)鐵相ハ先ニモ四  
國ハ鐵道文化ニ惠マレテ居ラヌト仰シヤ  
イマシタガ、其通りデアリマス、九州ノ  
ソレニ較ベレバ、四國ノソレノ如キハ餘リ  
ニモ貧弱デアリ、餘リニモ悲慘デアリマス、  
循環鐵道ハ臺灣ニ於テスラ、或ハ北海道ニ  
於テスラ、既ニ出來、出來ントシテ居ル時ニ  
於テ、四國ニ於ケル循環鐵道ノ前途ハ頗ル  
遼遠デアツテ、果シテ何レノ日ニ完成スル  
カ想像モ付カナイト云フ實情ニ置カレテ居  
ルノデアリマス、此時ニ當リマシテ、獨リ  
折角作ッテ戴イテ居ル既定建設線デア  
ルレガ豫算ノ都合ヤ或ハ財政ノ都合デ直チニ  
スルコトガ出來ナケレバ、年度ヲ繰延ベテマ  
モ私ハ建設線トシテ置イテ戴キタカッタノ  
デアリマス

〔發言スル者アリ〕  
○議長(秋田清君) 靜肅ニ  
○武智勇記君(續) 斯様ナ事柄デアリマス  
ルガ爲ニ、特ニ私ハ此第百四號線ノ人々ガ  
氣ノ毒デアルト云フヤウナ感ジヲ起スト同  
時ニ、鐵道大臣ガ如何ナル理由ニ依ッテ此  
冷酷ナ御仕打ヲ爲サタノデアアルカ、先程ノ  
御説明位ナ理由デハ物足りナイ

〔發言スル者アリ〕  
○議長(秋田清君) 靜肅ニ  
○武智勇記君(續) 其御心持ヲ聽キタイノ  
デアリマス、ソレカラ尙ホ申上ゲテ見タイト  
ハ、是ハ此線路ハ私共ノ黨派ニハ餘リ深イ

關係ノアル線路デハナイ、政友會ニ取ッテハ  
由緒ノ深イ黨歴ヲ有シテ居ル線路デアリマ  
ス、地方民ガ建設線トシテ計上セラレル迄  
ニ拂ッタ血涙ノ努力ハ、實ニ吾々ガ想像シテ  
モ容易ナラヌモノガアリマシタガ、其斷エザ  
ル、不斷ノ努力ニ依ッテ、此線ハ大正十二年  
第四十六議會ノ時、政友會ノ支援ニ依ッテ  
經費八百四十四萬圓ヲ以テ大正十三年カラ  
起工シ、昭和八年ニ完成ス豫定ニ相成ッテ居  
リマス、其後大正十四年ニ完成年度ヲ二  
年間繰延ベ、著工ヲ五年間繰延ベマシタコ  
トガアリマシタガ、更ニ財政ガ逼迫致シマ  
シテ、江木鐵道大臣ガ鐵道ノ大整理ヲヤッ  
タ、アノ時ニハ下ラナイ鐵道ハ殆ド皆整理  
ヲ致シマシタガ、其整理ノ際ニモ、尙ホ此  
第百四號線ト云フモノハ殘サレタ線路デア  
ル(拍手)諸君、是ダケハ殘サレタ線路デア  
ル、ソレ故ニ愈、鐵道ト云フモノハ繰延ニハ  
ナツタケレドモ、遅カレ早カレ聽テ鐵道ガ著  
ク時ガアルト云フノデ、地方ノ老人達ハ嬉  
シ涙ニ眼ヲ瞬イテ、岡蒸汽ガ俺ノ里ニモ著  
クヤウニナル、勇マシイ汽笛ノ聲ガ聞エル  
ノモ其中デアルト喜ンダ里ノ人達ノ心持ヲ  
察スル時ニ、私ハ此際突如トシテ繰延ノ災  
厄ニ遭ウタト云フコトニ付テハ、鐵道大臣  
ガ言ハレルノミナラス、吾々アノ地方カラ  
出テ居ル者トシテ、頗ル遺憾ニ堪ヘナイノ  
デアリマス

諸君、法律ト云フモノハ生物デア  
ル、又  
時代ハ年ト共ニ變遷ヲ致スモノデアリマス  
ガ、物堅イ地方民ハ法律ニ依ッテ保障サレ、

豫算面ニ依テ數字ガ力カヌ以上ハ大丈夫デアルト、斷末魔ノ利那マデ絶對ノ安心ヲ持テ居リマシタ、然ルニ此度突如トシテ今度ノ御變動ヲナサタモノデアリマスカラ、落膽失望ノ想像ノ外デアッテ、百四號線ヲ建設線トシテ今日アルヲ致シタコトニ最大ナ努力ヲ拂ハレタ政友會、其政友會出身ノ三士鐵相ノ手ニ依テ、此百四號線ガ根コソギ根本カラ破壊サレタノデアルカラ、恰モ地方民ハ母ノ慈愛ノ袖ニ絶タト思ヒノ外、鬼婆ノ懷テ絞殺サレタヤウナ感ジラ致シテ居ルノデアリマス

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅

○武知勇記君(續) 一體アナタ方ハ頻リニ彌次ヲ居ルガ、彌次ルヤウナラ「マイクロフォン」ヲ使フゾ——私ハ此際地方民ガ鐵道問題ニ付テ如何ニ苦シク運動ラシテ居ルカト云フ實情ヲ、御参考ノ爲ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、東京ヤ大阪地方ノヤウニ、交通機關ノ發達ヲ致シテ居ル其地方ノ人々ハ、サマデ御感ジハアリマスマイガ、鐵道ニ惠マレルコト頗ル乏シキ所ノ地方民ハ、鐵道運動ニ對シマシテハ實ニ眞劍熱烈デアッテ、他人ノ推測ヲ許サザル物凄イモノガアルノデアリマス、鐵道大臣ハ勿論ノコト、次官、參與官ニ至ルマデ、其一顰一笑ガ廳テ「レール」ヲ伸縮スル所ノ「バロメーター」トナルト信ジマシテ、應接ニモ殆ド自分ニ一分ノ隙モナイヤウニ、鐵道大臣、或ハ次官、參與官ニ對スルノガ地方人ノ心持デアリマ

ス、斯様ナ心持ヲ以テ熱心ニ運動致シマシタ、而シテ其結果幸ウジテ建設線ニ入レラレタモノガ、突然法律ヲ以テ保障セラレ、豫算ノ數字ヲ以テ確メラレテ居、此線ガ、一朝ニシテ根柢カラ覆ヘサレテ、豫定線ニ繰入レラレルト云フニ至テハ、斯様ナコトガ其當該地方民ノ思想ニ惡影響ヲ及ボスコトガナシト御考ヘニナルカ、私ハ思想善導ニ留意セラレル所ノ現内閣ノ閣僚タル三士鐵道大臣ガ、此方面ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持テ居ルカ承テ見タイノデアアル、又黨出身ノ閣僚トシテ、自分ノ政黨ガ今マデ此問題ニ努力ラシテ居リナガラ、之ヲ其出身閣僚ノ手ニ依テ壞スノデアリマスカラ、政治道徳カラ考ヘテ見テ、鐵相ハ黨員ニ對シテ果シテ挨拶ノ言葉ヲ持テ居ルカドウカ、自黨ノ主張ヲ壞シテマデ建設線ヲ削除スル、政黨ノ公約ヲ無視シタ所ノ此罪惡ニ勝ル何物カラ茲ニ見出サナケレバナラナイガ、此路線ヲ削除セラレタコトガ、ソレ程國家經濟ノ上カラ、或ハ社會思想問題ノ方面カラ考ヘテ見マシテ、正當ニシテ且ツ適切ナモノデアッタト認メラレルカドウカ、此點ヲ承リタイノデアリマス

二軒ニアッテ、而シテ此建設費ハ先ニモ申シマシタ通り八百四十四万圓デアリ、沿線ノ人口ハ一平方里ガ千七百七十七人ト相成テ居リマス、之ニ對シテ百三號線ハ、其距離ガ三十三軒デアッテ、而シテ此經費ハ五百十六万圓、沿道ノ人口ハ一平方里三千八百六十五人トナッテ居ルノデアアルカラ、宇和島市ヲ終點驛ト見ル時ニ於テハ、何レノ方面カラ見テモ、是ハ百三號線ヲ是ナリトシナケレバナラス、併ナガラ諸君、私ノ言フノハ宇和島ヲ終點トシテ、モウ之ヲ打切り、近永ヨリ高知ニ入ル所ノ循環鐵道ヲ御打切ユナッタナラバ、此百三號線ヲ採ルベキモノデアルト申スノデアアル、若モ近永ヨリ中村或ハ須崎ニ行キ、愛媛縣ヨリ高知ニ至ル所ノ此循環鐵道ノ路線ヲ、飽迄モ實行セラル、御意思ガアルナラバ、此百四號線ト云フモノハ循環鐵道トシテハ最モ捷徑路デアッテ、私ハ此循環鐵道御打切ノ精神ガナイ以上ハ、百四號線ヲ削除スベキモノデハナイト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、是等ノ事柄ニ對シマシテ鐵道大臣ノ御答辯ヲ承リタイノデアリマス

(國務大臣三土忠造君登壇)

○國務大臣(三土忠造君) 只今ノ武知君ノ御質問ハ、何故ニ長ク前ニ決定シテ地方民ガ確信シテ居、鐵道ヲ變ヘタカ、ドウ云フ理由ガアッテ變ヘタカト云フコトノ御質問デアリマシタガ、丁度其末ニ於テ、武知君ガ自ラ御答下サ、タヤウナ氣ガ致スノデアリマス、即チ武知君ハ、此線路ダケヲ比較スレバ、即チ大洲、宇和島間ヲ比較スレバ、政府ノ新ニ變ヘタ方ノ線ガ、建設費モ少イシ、距離モ短イシ、ソレカラ收益歩合モ良イト云フコトヲ御認メニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、全く其理由デ變ヘタノデアリマス、ソコデ宇和島マデ、打切ルノナラバ是デ宜シイガ、宇和島カラ高知縣ヘ行ク鐵道ハドウスルノカ、若シ將來高知縣マデ行ク所謂循環鐵道ヲ建設スルナラバ、今度變ヘタノハ餘リ意味ヲナサヌヂヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、御承知ノ通り現在ノ鐵道敷設法ノ計畫ニ於キマシテモ、百三號線ト申シマスルモノハ、即チ近永カラ中村ヲ經テ高知ニ參ルヤウニナッテ居ルノデアリマシテ、是ガ爲ニ宇和島ニ至ル線ハ變リマシテモ、近永ト中村ト云フモノガ今日ノ計畫ニナッテ居リマスルカラ、此邊ニハ少シモ變リハアリマセヌ、唯、將來ノコトヲハ、キリ申スコトガ出來マセヌコトハ、豫定計畫ニハ近永カラ中村トナッテ居リマスルケレドモ、今鐵道省ニ於テドノ線路ヲ選ンダラ宜イカト云フコトヲ研究シテ居ルト云フコトハ、先刻大本君ニ御答シタ通りデアリマス、地方民ニ對シテ如何ニモ殘酷デアアル、地方民ニ變シテ居、タノニ、照婆ニ踏潰サレタヤウニ感ジガスルト云フヤウナ御話デアリマスルガ、私共實ニサウ云フ感ジガ致シマス、私ハ惡婆ノ積リハアリマセヌガ、兎ニ角洵ニ氣ノ毒ニ感ズル、故ニ何トカ致シタイト思ヒマシテ、今度自動車ノ計畫ヲ致シマシタ、即チ大洲カラ近永マデ段々ニ自動車ヲ

ヤッテ行ク積リデアリマス、而シテ來年カラ著手スル積リデアリマス、此場合私ハ一言致シテ置キマスルガ、此所謂百四號線ガ御話ノ通り大正十三年ニ計畫サレテ、ソレカラ以來三回モ繰延ヲサレタト云フコトハ、ドウ云フコトカト申シマスルト云フト、如何ニモ難工事デアリ、如何ニモ收益歩合ノ少イ線デアリマスルガ爲ニ、相當鐵道ノ收入ノ多カク時代ニサヘモ繰延ラレタノデアリマス、デ今度若シ之ヲ打切ラズニ置ク、此方ヲ、百三號線ヲ選バズ、元ノ通りヤリマスルト、餘程長イ計畫ニシテ殘サナケレバナラヌカモ知レマセヌ、如何ニモ地方ノ人ニ氣ノ毒デアリマスルケレドモ、此線ノヤウナモノヲヤッテ行クコトハ、今日ノ經濟狀態デ餘程ムヅカシイ、即チ此線路ヲ選ビマシタ頃ニハ、鐵道ノ收入ハ非常ニ多ク、サウシテ非常ナ不引合ナ線マデ抱イテ行ケタノデアリマスルガ、今日ノ狀況デハ、餘程悪クナッテ參リマシタ、隨テ茲ニ距離ガ短ク、建設費ガ安ク、收益ノ良イモノヲ成ベク選ンダト云フコトハ已ムヲ得ナカッタノデアリマス、此邊ノ事情ハ段々ニ地方ノ人モ御分リニナッテ、我慢シテ下サルダラウト思ヒマス、是ダケ申上ゲマス(拍手)

○議長(秋田清君) 武知君宜シウゴザイマスカ

○武知勇記君 後ハ委員會デアリマス

○議長(秋田清君) 井上剛一君

(井上剛一君登壇)

○井上剛一君 私ハ只今上程ノ鐵道敷設法

中改正法律案ニ付キマシテ、簡單ニ政府ニ御尋ヲ申上ゲタイノデアリマス、私ハ御提案ニ對シマシテハ交通ノ整備、文化ノ發展、産業ノ發達等ノ見地ヨリ致シマシテ、敢テ反對ヲ致スモノデハナイノデアリマス、唯、此間ニ於キマシテ私ノ頗ル惑ヒナキ能ハザルモノアルガ故ニ、此點ニ付テ簡單ニ御尋ヲ致スノデアリマス

此既ニ確定サレテ居リマス所ノ豫定線ノ中、南日本北日本トノ連鎖タル遠信鐵道、即チ濱松ヨリ信州飯田ヲ經テ龍野ニ至ル所ノ路線デアリマス、此路線ノ速成ニ關シマシテハ、當議場ニ於テ屢、此建議案ガ通過サレテ居ルノデアリマスルガ、併シ此豫定線ハ遂ニ實現スルニ至ラズシテ、第一次若槻内閣ニ於キマシテ信州ト參州ヲ結ブ所ノ參信鐵道、此私設鐵道此鐵道ハ將ニ却下ノ運命ニ墮テ居、タカノヤウニ承テ居ルノデアリマスルガ、昭和二年ノ四月ノ政變ニ依リマシテ、田中内閣ノ成立致シマスルヤ、此參信鐵道ハ許可ニナッタノデアリマス、ソコデ現在ハ既ニ工事ガ竣工致シテ居リマシテ、只今デ謂フ所ノ遠信鐵道ト云フモノハ、二俣カラ佐久間ニ至ル線デアアル、之ヲ稱シテ遠信鐵道ト申シテ居ルヤウデアリマス、ソコデ二俣カラ佐久間ニ至ル此路線ハ、常ニ財源ノ都合デアリマセウカ、繰延ニ繰延ヲサレテ居リマシテ、少クトモ明年度、即チ昭和八年度ニ於テハ當然建設サルベキコトヲ一般地方民ハ之ヲ期待シテ居ッタノデアリマス、併シ既ニ政府ニ於テ許可ニナリマシタ私設

鐵道ノ參信鐵道ハ、ソレノ工事ヲ進行シテ居リマスカラ、是ニ於テカ二俣カラ佐久間ニ通ズル所ノ遠信鐵道ノ完成ヲシテ、佐久間デ結ビマスルナラバ、ソコデ濱松ニ到ル所ノ交通ガ全ク完成スルニ至ルノデアリマス、而シテ私ノ御伺致シタイノハ、今回御提案ニナリマシタ中ノ新タナル建設線、即チ昭和八年度ヨリ建設サレル所ノ六十三ノ二、靜岡縣二俣ヨリ愛知縣豐橋ニ至ル此鐵道、之ヲ建設セラレマスルナラバ、同時ニ二俣ヨリ佐久間ニ至ル所ノ此遠信鐵道ノ御建設アツタガ、却テ鐵道收入ノ上ニ於テモ、亦産業ノ發達、交通ノ整備、文化ノ發展、何レモ當然裨益スベキコトヲ私ハ信ジマスルト同時ニ、二俣カラ豐橋ニ至リマシタケノ路線ヲ建設サレテ、果シテ黒字ガ出ルカ、赤字ガ出ルカト云フコトニ付テハ、鐵道當局モ既ニ算盤ヲ持テ居ラレルコト、私ハ思フ、ソコデ若シ遠信鐵道タル二俣カラ佐久間ニ至ル所ノ路線ヲ建設致シマシナラバ、之ニ依ッテ今回新タニ建設サレル二俣カラ豐橋ニ至ル所ノ培養線トモナリ、又既ニ既設鐵道デアリマス所ノ、私立遠州電氣鐵道株式會社ノ培養線トモナリ、延テハ東海道線ノ培養線ニナルノデアリマス、然ルニ何故ニ二俣ヨリ佐久間ニ至ル此遠信鐵道ノ建設ヲ繰延ニナリマシタカヲ伺ヒタイノデアリマス、吾々ガ非公式ニ鐵道當局ノ方ニ伺フ所ニ依ルト云フト、二俣カラ豐橋ニ至ル線ハ、鐵道ノ希望ニアラズシテ、寧ろ軍事上ノ關係カラ之ヲ建設セラレルモ

ノデアルト云フコトヲ、私ハ伺ッタノデアリマス、即チ東海道線中ノ濱名鐵橋ガ一朝有事ノ場合ニ於テ既ニ危險デアアル、ソレ故ニ濱松ヲ迂回シテ、サウシテ太平洋ニ向テ居ル所ノ濱名鐵橋ノ危險ヲ避ケルノデアルト云フヤウニ私ハ承ッタノデアリマスガ、只今陸軍當局ノ方ガ居リマセヌノデ、是ハ何レ委員會ニ於テ御伺スル覺悟デアリマスケレドモ、若シ斯様ナ理由デアルト云フナラバ私ハ疑ガアル、ト云フノハ成程太平洋ニ面シテ居ル所ノ濱名鐵橋ハ、一朝有事ノ場合ニハ危險デアリマセウ、危險デアアルガ、濱名鐵橋ガ破壊セラレル時分ニハ、東京大阪ハドシナモノデアラウカト云フコトヲ言ヒタイ、或ハ是等ハ一場ノ遁辭ニ過ギザルモノデアアルカモ知レマセヌガ、若シ左様ナ必要アリトスルナラバ、其必要ニ對シテハ私ハ決シテ反對ヲ致スモノデハナイ、又二俣カラ豐橋ニ通ズル建設新線ニ付テ、私ハ反對セザルノミナラズ、贊成ヲ致スモノデアアル、然レドモ之ヲ贊成スルト同時ニ、二俣カラ佐久間マデノ遠信鐵道ヲ同時ニ建設ナスッテ、サウシテ國家ノ鐵道ノ培養ニ爲スベキモノデナイカト云フコトヲ、私ハ伺ヒタイノデアリマス、此點ニ付キマシテ鐵道當局ヨリ何卒御懇切ナル御答辯ヲ得タイ、而シテ御答辯ヲ得マシテ、尙ホ私ノ満足セザル點ハ委員會ニ於テ御伺ヒスルコトニシテ、是デ打切ルコトニ致シマス(拍手)

(國務大臣三土忠造君登壇)

○國務大臣(三土忠造君) 此問題ニ關聯致

シマシテ、自然他ノ繰延ニモ及ボシマスカラ一言申シテ置キマスガ、私ガ鐵道大臣ト致シマシテ、鐵道ノ計畫ヲ致シマス時分ニ、出來ルダケ既ニ著手シテ、半バ以上進行シテ居ルモノハ繰上ゲテ、早ク事業ヲ開始シテ、地方ノ便益ヲ開キタイ、同時ニ之ニ依テ鐵道ノ固定資本ノ利子ニ對シテ幾分デモ收入ヲ得タイ、斯ウ云フ積リデ、先般ノ臨時議會ニ二十五線繰上ゲマシテ、諸君ノ御協賛ヲ得タノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、大正十三年以來鐵道ノ建設計畫ニ付キマシテ、豫算ハ變化シテ居ラヌノデアリマス、物價ノ變動等ガアリマスニ拘ラズ、唯ミ帳簿ノ上ダケ繰延ヤ色々致シテ居タノデ、大正十三年以來總テ整理ガ出來テ居リマセヌ、故ニ各線路ノ年度割ト云フモノガ實際ノ支出ニ適シテ居ナイ、ソコデ今回初メテ繰上ト同時ニ整理ヲ致シタノデアリマス、整理ヲ致シテ見マスルト、ドウシテモ金ガ足りマセヌ、依テ昭和七年ハ七百萬圓、八年ハ八百萬圓建設費ヲ増加致シマシテ、繰上ヲ致シ、サウシテヤ、テ見マスルト、未著手ノモノヲ若干年度ヲ繰延ベル形ヲ取りマセヌト、算盤ガ探レヌノデアリマス、即チ當該年度、即チ本年度——昭和七年度ハ四千萬圓、八年度ハ四千萬圓、九年度ハ四千萬圓、十年度ハ四千萬圓ト云フコトニナ、テ居ルノデアリマシテ、何レ其年ニナレバ財政ノ都合ヲ見テ、公債ヲ増シテ建設計畫ヲ變ヘル積リデアリマスケレドモ、今ノ所、後數年度

マデ既定計畫ノ公債ヲ増發スル計畫ヲ樹テルコトハ出來マセヌカラ、已ムヲ得ズ繰上ト同時ニ、或モノハ繰延ノ形ヲ採ラナケレバナラス、併シ成ベク繰延ベマシテモ、完成年度ハ變ヘヌコトニ致シマス、只今ノ二俣佐久間間ノ如キ、著手ノ年度ヲ遅ラセマシタケレドモ、完成年度ハ同ジデアリマス、元ハ昭和九年ニ始メテ十六年ニ完成スルト云フノヲ、昭和十二年ニ始メテ十六年度ニ完成スル、斯ウナ、テ居ル、ソレハ今迄モ出來ルダケハ要求ヲ聞イテ居リマスケレドモ、短カイ路線デ長イ年限ヲ要シマス計畫ニナ、テ居ル、例ヘバ宮城縣ノ石ノ巻ト女川間ノ如キハ哩幾ラデアリマスガ、是ハ六箇年計畫デアリマス、是モ繰延ベマシタ形ニナ、テ居リマスガ、完成年度ハ變リマセヌ、實際ヤレバ二箇年デ十分出來ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、大體繰上ゲマシタ各線路ノ完成年度ノ變ツテ居ラヌモノハ、或ハソレ以上繰上ゲルカモ知レマセヌガ、先ヅ今年ニ對スル豫算ハ増シマシタケレドモ、後年度ノ豫算マデ今カラ増ス譯ニハ行キマセヌカラ、已ムヲ得ズ繼續年度ノ割當ニ依、テヤ、タノデ、出來レバ繰上ゲル積リデアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ハ終局致シマシタ、日程第六右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○上田孝吉君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 上田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——此際御報告致スコトガアリマス、昨二十五日ノ本院ニ於ケル陸海派遣軍ニ對スル感謝決議ニ對シ、關東軍司令官ヨリ議長宛、次ノ電報ヲ受領致シマシタ

一月二十五日衆議院ノ決議ヲ以テ關東軍將兵ニ對シ深厚ナル感謝ノ辭ヲ致サレ感激ニ堪エス將兵一同益、奮勵御期待ニ副ハンコトヲ期ス(拍手)

尙ホ朝鮮軍司令官、支那駐屯軍司令官及上海派遣陸軍武官ヨリソレソレ陸軍省ヲ經テ、院議ニ對シ重ネテ深く感謝ノ意ヲ表スルト共ニ、愈、勵精以テ國民ノ負託ニ副ハンコトヲ期スル旨ノ電報ヲ受領致シマシタ(拍手)——青木雷三郎君ヨリ議事進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマス、土屋清三郎君ノ演說ニ關スル件トノコトデアリマス、此場合之ヲ許シマス——青木雷三郎君

(青木雷三郎君登壇)

○青木雷三郎君 諸君、本員ハ此際加藤綱一君ノ演說ニ付キマシテ、本日土屋清三郎君カラ議事進行トシテ議長ノ措置ニ對シマスル所ノ演說ガア、タノデアリマス、私共ハ土屋君ト同ジク議會ノ振肅ヲ圖リ、而シテ議會ノ權威ヲ伸張致シマスルコトニ付テ

ハ、決シテ土屋君ニ讓ラザルモノデアアルノデアリマス、併ナガラ其演說ノ中ニ、土屋君ガ自ラ求メテ議會ヲ侮辱シ、吾々議會ノ代表者デアリマスル所ノ議長ニ對シ其尊嚴ヲ害シ、所謂其權威ヲ傷ケルト云フ所ノ言說ノア、タコトヲ、私ハ遺憾ト致スノデアリマス(拍手)土屋君ハ此演說ニ對シテ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○青木雷三郎君(續) 其言辭ノ中ニ、秋田議長ハ籍ヲ政友會ニ置イテ、政友會ト通謀スルト云フコトガ書イテアル、政友會ノ相談ニ與ルトカ、協議スルト云フヤウナコトハナイコトハ勿論、通謀致シタイト云フ事實ガアリマセヌコトハ吾々確信致シテ居ル、而モ此議長ニ對シテ、通謀ヲスルトカト云フ低級野卑ナ言辭ヲ使、テ、議長ニ對シテ侮辱ノ言辭ヲ發シタト云フコトハ、許スペカラザルコトデアアル、而モ尙ホ最後ニ於テ土屋君ハ斯様ニ言、テ居リマス、此問題ニ對スル所ノ議長ノ態度ハ市井ノ三百代官ノ態度デアルト云フコトヲ言、テ居リマス、諸君、私共ハ斯様ニ考ヘテ居ル、此問題ハ元來政友會ト政黨トノ間ニ起キタ問題デハナイ、吾々ニ關係ノナイ政黨ト國民同盟トノ間ニ起キタ問題デアアル(拍手)議長ガ政友會ニ籍ヲ置イテ居ルカラト云、テ、故ラニ國民同盟ヲ庇護シテ、政黨ニ過酷ナル態度ヲ執ルコトハアリマセヌ、左様ナ必要ハナイ、左様ナ場合ニ於テ、斯様ナ野卑ナ言辭ヲ使、テ、口ニハ所謂議會ノ振肅ヲ

名トシテ議事進行ノ發言ヲ求メタ 土屋君

ガ、其演説ニ於テ、更ニ新タナル議會ヲ侮辱スル言辭ヲ使、タト云フコトハ、赦スベカラザルコトデアアル、吾々ハ演説ノ當時ニ、直チニ取消ヲ要求セントシタノデアリマスガ、速記録ヲ見ザレバ明確ヲ缺クノ處ガアリマスカラ、速記録ニ於テ其原稿ヲ謄寫シ來、タノデアリマス、議長ハ御就任以來議會ノ振肅ニ對シマシテ、非常ナ努力ヲ拂ハレテ居ル方デアリマス、此演説ニ對シテ私共ハ此議會振肅ノ意味ニ於テ、土屋君ノ演説ガ亦議會振肅ヲ動機トシ、目的トスル演説デアル以上ハ、之ヲ放任スルコトハ出來マセヌ、議長ヲ通ジテ私共ガ政友會ト通謀シテ居ルノ、或ハ議長ハ三百代言ノ態度デアルト云フガ如キ、此不穩當、議會ヲ侮辱致シマスル言辭ヲ土屋君ニ對シテ御取消ヲ要求スル次第デアリマス、若シ土屋君ガ之ヲ承服セザルニ於キマシテハ、更ニ次ノ手段ヲ擇ブコトヲ吾々ハ辭セヌノデアリマス(拍手)

〔謝マレ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——此際土屋君ニ御交渉致シマス、只今議事進行ノ發言トシテ青木雷三郎君ノ御述ベノコトハ、土屋君御聞キノ次第デアリマス、此場合土屋君ハ青木君ノ指摘セラレマシタル言辭ヲ取消サル、御意思ガアリマスカ、如何デアリマス、御登壇ノ上明確ニセラレンコトヲ望ミマス

(土屋清三郎君登壇)

○土屋清三郎君 只今青木君カラ、先刻私ガ發言ノ中ニ議長ヲ侮辱シタ云々ノ言葉ガアリマシタ、元來此問題ヲ起シタノハ一體何人デアルカ、秋田議長ハ就任以來今日マデ、議長トシテ不公平ナル態度ヲ執、テ居、タト云フコトハ、天下周知ノ事實デアアル(ノー)併ナガラ今青木君ノ其言ハレタコトノ内容ニ付テハ、私ニ於テモ篤ト速記録ヲ調べテ、改メテ私ノ態度ヲ決スルコトニ致シマス

○議長(秋田清君) 既ニ本日ノ日程ヲ議了致シマシタカラ、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致スコト、シ、本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後五時二十二分散會

衆議院議事速記録第六號中正誤

頁 段 行 誤

八三 四 一六 議長(秋田清君) 副議長(植原悦二郎君)

